

課題
TASK

能登半島地震の被災地支援と被災で見える課題について

2024年1月1日、能登半島で起きた最大震度7の地震により、津波・火災・家屋倒壊などで大きな被害が出ました。特に、石川県では241人が亡くなり、避難者は13,500人以上にも及んでいます。浜松市は、1月2日から石川県珠洲市を主に、同県内の救援活動を続けています。

2月末現在までに、現地災害対策本部の運営支援37人、物資管理業務支援に110人、健康支援に保健師22人・調整員11人、建物被害認定調査に57人、避難所運営支援に16人、水道被災状況調査等に24人、下水道被災状況調査等に24人、消防援助に51隊203人、ヘリコプター救助に1隊6人、災害廃棄物処理に24人の職員を派遣しています。

ライフラインの被害は大きく、最大で111,590戸が断水、1ヶ月以上経っても約37,500戸が解消していません。特に、被災地や避難所でも問題になっているのは、やはりトイレの問題です。改めて、水道・下水道の復旧は時間が掛かることが分かり、日頃から個々に水と災害時用トイレを備蓄する必要性を強く感じました。

また、この地震では、福井県・石川県・富山県・新潟県の東西約320kmに渡り液状化が起きたと言われています。液状化が起きやすいのは、埋立地・干拓地・旧河道ですが、今回は中でも砂丘の陸側で激しい液状化が起き地面の隆起や陥没、家屋倒壊などの被害が発生しています。さらに、土砂崩れも多数

起き、救助活動や物資の支援にも影響したようです。

本市も、海岸や湖岸に隣接する地域や元は河川だった旧河道も多くあるため、普段から浸水や液状化に対する意識を高めることも大切だと思います。

本市のホームページのハザードマップには、浜松市地震防災マップも掲載されていますので、ぜひご覧になって下さい。ご自身が関わる地域のことを確認し、今後の防災対策に活かす機会として下さい。

大きな地震によって広範囲に被害を受けた場合、公的な支援を受けられるまでに時間が掛かる場合もあり、自助共助が基本になります。この能登半島地震を教訓に、今一度、備蓄品やその置き場所などの見直しをしてみてください。車の中に、防災用品や備蓄品を入れておくことも良いと思います。

また、浜松市防災ホットとメールを登録しておく、災害などの緊急情報、地域情報、気象情報などをメールで配信してくれるので役立つと思います。



防災ホットとメール登録用QRコード
または、下記「空メール用アドレス」から
空メールを送信してください。
entry@city-hamamatsu.jp

〇〇ってどうなってるの?〇〇したいけど、どうしたらいいの?
疑問、ご相談など、下記までご連絡ください。

市民相談について

馬塚さやかにお声を
かけてください

皆様の地域のイベントや会合などにお声をかけて下さい。
馬塚さやかが、市政のご報告やご意見ご要望を伺います。
一緒に考え、市政に活かしていきたいと思います。



浜松市議会 市民サポート浜松 053-457-2491

〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2 浜松市役所7階 FAX 053-457-2490
sayaka.m@hamamatsu-shigikai.jp https://www.sayakamazuka.jp/



No.11
2024年

市民サポート浜松の 浜松市議会ニュース

浜松市議会のご報告、
議員活動などをお伝えします。

市民サポート浜松発行 / 〒430-8652 浜松市中央区元城町103-2 浜松市役所 7階 TEL.053-457-2491

発行責任者/馬塚さやか

能登半島地震により犠牲になられた方々に哀悼の意を表しますとともに
被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。
この災害を教訓として「市民が安心できる浜松市であるように」
精一杯尽力させていただきます。



報告
REPORT

3区体制による 新浜松市スタート

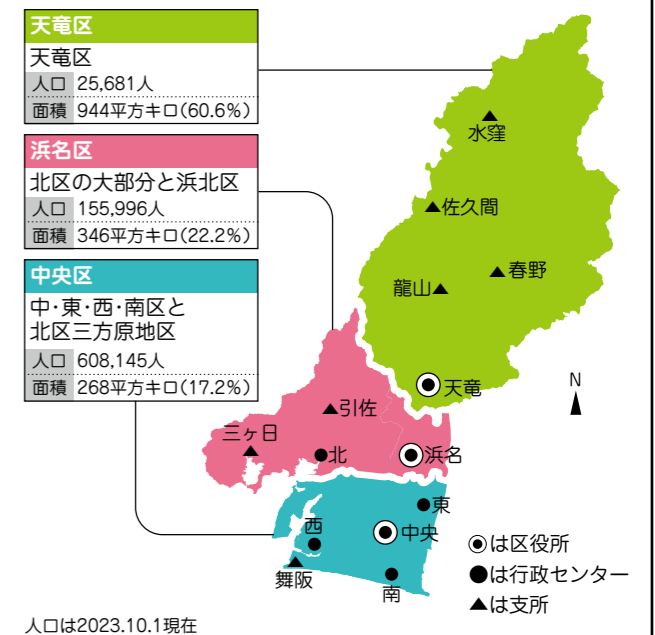
本年1月1日より、行政区の再編によって7区から3区に変わり、新体制による浜松市がスタートしました。これに伴い、区名が中央区と浜名区と天竜区に変わりました。

区役所は、中央・浜名・天竜の3箇所になり、以前の東・西・南・北の4区役所は行政センターに変更されましたが、手続きなどの市民サービスは今まで通り提供されます。地域の拠点である協働センターの舞阪・引佐・三ヶ日・春野・佐久間・水窪・龍山は、支所と名称が変更されましたが、他の協働センター、ふれあいセンター、市民サービスセンターでも取り扱う業務の変更はありません。

以前と変わったことは、区の社会福祉課・生活福祉課・長寿保健課が、福祉事業所として統合、健康づくり課が健康づくりセンターに変更され、浜松市役所健康福祉部子ども家庭部の直轄になりました。これは、現場の意見を直接反映させ、指揮命令系統を一元化することで、福祉サービスの質の確保を図る狙いです。また、以前は区ごとに所属していた保健師などの専門職は、市役所に所属を一元化してチームとして対応することになり、専門性の高いサービスを安定して提供できるようになりました。他にも、土木整備事務所の拠点と所管エリアの見直しや区協議会の体制などが変更されています。

詳しい情報は、広報はままつ臨時号の「区再編ガイドブック」、浜松市ホームページで「行政区の再編について」をご覧ください。

区割りの概要と区役所・行政センター・支所の場所



話題
TOPICS

女性議員について

2023年4月の統一地方選では、本市の議員定数46名に対し女性議員が14名となりました。浜松市議会において、女性が30%を超える議席を獲得することは史上初めてのことでした。

また、政令指定都市20都市中、2位と好結果でした。

市政の中で、福祉・子育て・教育・暮らし・防災・環境などの施策に女性の目線を生かすことは、特に大事なことです。今後、さらに男女同等の立場で物事を判断できる議会になるためには、まだまだ女性議員の数が足りません。



浜松市議会報告



市民の皆さまに市議会の活動を身近に感じていただけるようにします

報告 議会質問について

2024年3月11日に議会質問を行いました。議会での質問項目を紙面でご報告いたします。

Q1. 子育て環境を支える取り組みを

- ・子育て支援の予算編成について
- ・男女とも利用できるベビーケアルームなどの環境整備を
- ・生理用品ディスペンサー実証実験について
- ・プレコンセプションケアの推進について
- ・こんにはマタニティ・赤ちゃん訪問支援事業について
- ・スクールソーシャルワーカーについて

Q2. 未来を担う世代に優しい取り組みを

- ・学校トイレの清掃体制について
- ・学校トイレの整備の在り方、児童生徒アンケートを

Q3. 災害時にも安心できる取り組みを

- ・災害時のトイレ環境について
- ・小中学校、防災公園のマンホールトイレの液状化時の対策・対応は
- ・携帯トイレ備蓄の充足について
- ・市民への携帯トイレ備蓄の啓発拡充について

Q4. ネイチャーポジティブに取り組める浜松市を目指して

- ・生物多様性はままつ戦略の改訂と野球場建設要望に見る本市の矛盾について

答弁内容は、後日、浜松市議会ホームページの会議録検索システム令和6年2月定例会(第1回)に掲載されますので、ぜひご確認ください。



議会質問をする馬塚さやか

報告 令和4年度決算について

令和4年度の一般・特別会計の合計は、前年度に比べて歳入は20億円の増、歳出は11億円の減でした。

令和4年度末の市債残高は、4,317億円です。前年度に比べ、259億円の削減となりました。中期財政計画では、前年度に比べ88億円の削減の4,558億円という目標値でしたが、それを上回る結果となりました。

市債残高4,317億円に対する市民一人あたりの市債残高は54万6千円です。前年度に比べ、2万4千円の減です。

	歳入	歳出
一般会計	3,959億	3,813億
特別会計	2,258億	2,199億
合計	6,218億	6,013億

●プレコンセプションケアについて

もうちょっと詳しく

プレコンセプションケアは「妊娠前からの健康管理」の意味です。厚生労働省は「若い世代に、将来の妊娠のための健康管理を促す取り組み」と定義し、3点目的としています。

- ・若い世代の健康増進、より質の高い生活実現
- ・若い世代が将来、より健康になること
- ・より健全な妊娠・出産のチャンスを増やし、次世代の子どもたちをより健康にすること

日本は、世界に比べ性と生殖等の教育が遅れ、健康や医療の正しい情報の入手や活用をしないため、若い世代の健康や次世代の健康対策不足があると考えられています。この取り組みでは、若い世代が自身のために知識を付けて将来的な病気のリスクを減らし、健康な次の世代に繋げていこうとするものです。

報告 令和5年度予算案 過去最大6,980億円

中野市長となって初めての予算案は、過去最大規模になりました。

令和5年度当初予算案は、一般会計+特別会計+企業会計の合計が6,980億円です。一般会計は3,963億円で、前年当初比+1.75%の68億円増え、過去最大の予算額です。

予算案には、産業力の強化や中心市街地の活性化、子育て・教育環境の向上、中山間地域の振興、また近年の自然災害の激甚化を踏まえた災害に強いまちづくり、公共施設やインフラ施設の適切な維持更新など、行政課題への対応を反映したとしています。

以下は予算案の一部

・EVシフト対応支援事業	8,200万円
・企業立地促進助成事業	40億9,000万円
・外国人材新生活支援事業	5,100万円
・中心市街地活性化事業	2,140万円
・大学生等就職支援事業	5,500万円
・インバウンド推進事業	6,700万円
・子ども医療費助成事業	37億7,000万円
・放課後児童会運営支援事業	20億8,000万円
・豪雨災害対策	52億1,000万円
・みんなの中山間地域応援事業	2,000万円
・公共建築物長寿命化推進事業	32億2,000万円
・道路、街路、河川事業	283億6,000万円

これらの予算案は、2月27日の本会議に提出され、委員会審査を経て3月22日の本会議において採決をします。



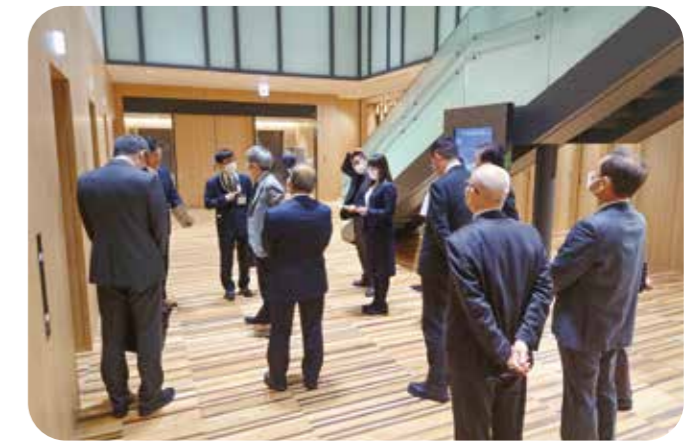
報告 市民サポート浜松 馬塚さやかの活動報告

本年度は、昨年度に引き続き議会デジタル化推進員を務め、常任委員会は総務委員会、特別委員会は大型公共施設建設特別委員会に所属しました。特別委員会では、医療センター新病院整備、四ツ池公園運動施設整備、新清掃工場建設などの審議をしました。

総務委員会では、2024年1月23日に神奈川県川崎市で昨年完成した川崎市本庁舎の視察を行いました。本市でも、現在の本庁舎の老朽化や本庁機能の分散による非効率性、免震機能不足などの課題を抱えているため、新本庁舎の総合防災拠点機能、環境性能や中心市街地における役割などを伺いました。

翌24日には、福島県郡山市で新設された郡山市役所のZ世代活躍係の視察を行いました。

本市においても、将来的に労働力不足が予測され、持続可能な行政サービスの実現と効率的な行政運用にとってZ世代の活用が課題であるため、先進事例として体制や影響、課題などについて伺いました。



川崎市新本庁舎視察

大型公共施設建設特別委員会では、同年1月29日に熊本県熊本市で、陸上競技場・球技場としてサッカー・ラグビーなどで使用されている「えがお健康スタジアム」(熊本県民総合運動公園陸上競技場)の視察を行いました。

翌30日には、鹿児島県鹿児島市で、陸上競技者のトレーニングに特化したスポーツ合宿拠点施設である「ジャパンアスリートトレーニングセンター大隅」の視察を行いました。

本市では、四ツ池公園の運動施設を将来的に陸上競技専用として改修する案が考えられており、その検討のためにこれらの施設で規模や設備、課題などを伺いました。